

（第1面）

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和5年 6月 27日

（宛先）

埼玉県 環境管理事務所長

報告者 住所 埼玉県熊谷市千代39番地

株式会社 ヴアレオ ジャパン 江南工場

代表者 江南事業部長 村瀬 一教

（電話番号 048-539-3700）



令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社 ヴアレオ ジャパン 江南工場
事業場の所在地	埼玉県熊谷市千代39番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
変更の概要	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	自動車部分品・附属品製造業 3100
2 事業の規模	製造品出荷額 410億円（令和4年度）
3 従業員数	543人（令和5年3月31日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
2 計画	【目標】「別紙のとおり」別紙 3		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
2 計画	【目標】「別紙のとおり」別紙 9		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

2	計画	【目標】「別紙のとおり」別紙 10		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により 減量する産業廃棄物 の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1	現状	【前年度（令和4年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行っ た 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
2	計画	【目標】「別紙のとおり」別紙 11		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1	現状	【前年度（令和4年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		

		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)				

(第5面)

2	計画	【目標】「別紙のとおり」別紙 12		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
※事務処理欄		

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

発生	社内処理	中間処理委託	最終処分
汚泥	排水処理	脱水・焼却・コンクリート混練 中和 乾燥 混合・混練	管理型埋立 改良土 路盤材 セメント原料
廃油	油水分離・減溶	油水分離・混合・混練	燃料化・セメント原料
廃酸	—	中和	管理型埋立
廃プラ	分解・分別・圧縮	破碎 焼却	ボイラー燃料 路盤材 管理型埋立
木屑	選別	破碎	再資源化
金属くず	—	破碎	再資源化
ガラス・陶磁器	—	破碎	路盤材
蛍光灯	—	破碎	再資源化
乾電池	—	選別・破碎	再資源化
水銀灯	—	破碎	再資源化

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

	〔主管部門〕	
省エネルギー管理主管部門	TCP施設保全部	部内の従業員
廃棄物管理主管部門	使用部門、HSSE Gr	グループ内の従業員
化学物質管理主管部門	使用部門、HSSE Gr	グループ内の従業員
	〔マネージャー及び、スーパーバイザー等〕	〔担当者〕
〔部門の長〕	グループ内の管理者	グループ内の従業員(江南、邑楽)
人事部 HSSE&GA Mgr	人事部内の管理者	部内の従業員
	企画部内の管理者	部内の従業員
	HDAM事業部内の管理者	部内の従業員
	〔警備〕内の管理者	部内の従業員
TAS RO THS開発 Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	TCC R&D部内の管理者	部内の従業員
	TCP R&D部内の管理者	部内の従業員
	TPT R&D部内の管理者	部内の従業員
TCP 生産技術部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	生産管理部内の管理者	部内の従業員
TCP 製造一部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	TCP VPS部内の管理者	部内の従業員
TCP 製造二部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	TCP VPS部内の管理者	部内の従業員
	邑楽生産技術部内の管理者	部内の従業員
	邑楽生産管理部内の管理者	部内の従業員
	邑楽品質保証部内の管理者	部内の従業員
	邑楽設備保全G内の管理者	部内の従業員
TCP 施設保全部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
購買部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
品質保証部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
TCC/TPT 生産技術部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	TCC/TPT VPS推進部内の管理者	部内の従業員
TCC 製造一部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
TPT 製造部Mgr	部内の管理者	部内の従業員
	内の管理者	内の従業員
	内の管理者	内の従業員
	内の管理者	内の従業員
	内の管理者	内の従業員
	TFE 製造部	部内の従業員
TFE Plant Mgr	TFE 生産管理部	部内の従業員
	TFE 品証部	部内の従業員
	TFE 生産技術部	部内の従業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
排出量	25.255t	163.399t	0.000t	98.235t	392.030t	0.000t	0.283t	0.060t	0.000t	0.000t

(これまでに実施した取組)

- ① 生産数量の減少により、汚泥排出量が減少出来た。
- ② LED化推進活動によりガラス・蛍光灯関係の廃棄量を削減する事が出来た。

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
排出量	24.750t	160.131t	0.000t	96.270t	384.189t	0.000t	0.277t	0.059t	0.000t	0.000t

(今後実施する予定の取組)

- ① 社内全体で2%削減をめざす

②計画

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状（分別している産業廃棄物の種類と排出&保管場所）

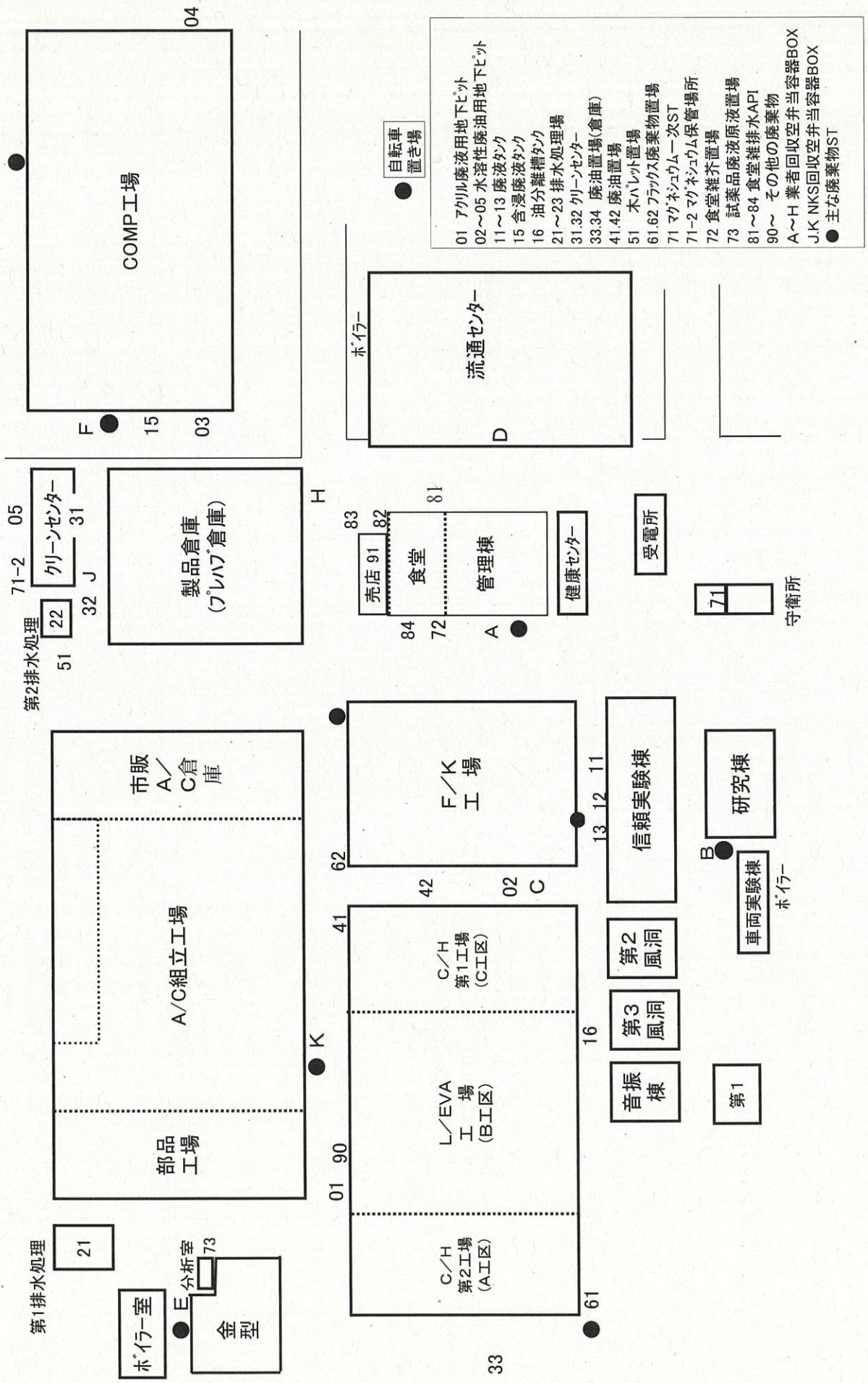
廃棄物名	分別区分	主な排出工場	排出&保管場所	場所No.等
廃油	水溶性廃油	FK工場	FK西ビット	02
	"	COMP工場	COMP工場西ビット	03
	"	"	各研削機械	
	"	"	COMP工場東ビット	04
	"	NKSクリーンセンター	クリーンセンター地下ビット	05
	廃薬品類・特殊塗料等		クリーンセンター	31
	エタノール等廃油	マルチ工場	COMP工場北廃油置場	34
	研削スラッジ	FK工場	FK西ビット脇	02
	"	COMP工場	COMP工場西ビット脇	03
	"	"	各研削機械脇	
	"	"	溝研機械	
	研削フィルター（ALスラッジ）	"	切削・研削機械	31
	研削フィルター（Feスラッジ）	"	"	31
	試薬品廃液（洗浄液）	信頼実験棟	信頼棟北タンク	12
	"（原液）	"	設備課分析室	73
	不凍液	信頼実験棟	信頼性&風洞実験G	11
	局排フィルター洗浄廃液	工場全体	局所排気・空調機等	
	タンク分離槽廃油	L/EVA工場	L/EVA南タンク	16
	分離槽廃油等	工場全体	構内油分離槽等	
廃酸	アクリル廃液	L/EVA工場	L/EVA北地下ビット	01
	L/EVA表面処理機廃酸	"	表面処理機各槽	
	第一排水処理場（廃酸）	"	酸・反応槽	21
	L/EVA NaOH槽	"	表面処理機各槽	
アルカリ	L/EVA表面処理機廃アルカリ	"	表面処理機NaOH槽	
フラックス廃液	ドラム缶 A1・A2・B1	C/H第2工場・FK工場北	C/H第2工場・FK工場北	61～62
汚泥	生活汚泥（全般）	COMP工場以外の工場	第2処理場	22
	生活汚泥（L尿）	COMP工場	第4処理場	23
	"（手洗）	"	"	23
	脱水汚泥（工業系）	L/EVA工場	第1排水処理場	21
	塩水汚泥	信頼実験棟	信頼棟北タンク	13
	"	"	"	"
	含浸汚泥	COMP工場	COMP工場西側タンク	15
	薬品混合汚泥	L/EVA工場	L/EVA北下屋下	90
	処理場槽清掃汚泥	第1・2・4処理場	第1・2・4処理場	21～23
	食堂雑排水		食堂排水溝（東、西、北）	81～84
	フラックス関係	C/H第2工場・FK工場北	C/H第2工場・FK工場北	61～62

廃棄物名	分別区分	主な排出工場	排出&保管場所	場所No.等
廃プラ	廃プラスチック(金属なし)	A/C組み立て工場	クリーンセンター	31
	廃プラスチック(金属付き)	A/C組み立て工場	"	"
	廃プラスチック(埋立処分)	各部門	"	"
	ビニール・プラスチック類★	A/C組み立て工場	"	"
	"	各部門	"	"
	"	ハンテックセツロジ	"	"
	" (アルミ蒸着品)	各部門	"	"
	薬品付着プラスチック(金属含む)	L/EVA工場	L/EVA北下屋下	90
	ダンプラ	A/C組み立て工場	クリーンセンター	31
その他	木くず(板パレット)	A/C組み立て工場	第2排水処理場西	51
	"	ハンテックセツロジ	"	"
	マグネシウム	L/EVA工場	守衛所脇→クリーンセンター	71→71-2
	粗大ごみ: OA機器・椅子・ロッカー等	工場全体	クリーンセンター	31
	医療廃棄物: 注射針、ガーゼ、包帯等	健康相談室、献血時の車内	■健保診療所、■が回収	
生活系 廃棄物	蛍光灯・水銀灯★	工場全体	クリーンセンター	31
	食堂雑芥生ごみ★	■	食堂西	72
	可燃ごみ★	工場全体	職場分別ボックス(一次排出場所)	
			各建物指定場所(二次排出場所)	
	生ごみ(水を切った物)★	工場全体	燃やす物BOX(トライにして)	
	外部コンビニの空弁当容器★	"	分別カゴ(クリーンセンター南)	J
	不燃ごみ★	"	"	31
	バッテリー★	"	クリーンセンター	"
	乾電池★	"	"	"
	たばこ灰・すい殻★	"	"	"
業者回収 及び 引取品	自販機購入品の空容器★	"	各自販機脇に回収容器設置	
	空き缶・空き瓶・紙コップ★	"	分別カゴ(業者引取回収)	
	紙パック・ペットボトル★	"	"	
	社内販売した空弁当容器★	"	分別カゴ(業者引取回収)	A~I
	安全靴★	"	専用BOX(業者引取回収)	91
	ダンボール★	"	クリーンセンター・ボックス、カゴ	31
	故紙(白い紙)★	"	クリーンセンター	"
	故紙(色付き紙)★	"	"	"
	機密書類★	"	"	31

★印の分類・内容は、『生活系・事務所系排出物分別基準』

江南工場の主な廃棄物排出マップ

第4排水処理 23 34



生活系・事務所系排出物分別基準

分別区分	分別のガイドライン	分別品の具体例	排出方法
故紙(白い紙)	①印刷の有無にかかわらず紙そのものが白色 ②画面の塗りつぶし面積が20%以下であること。20%を超える場合は色付きの故紙へ ③紙の大小、切断したか否かは関係ない	①コピー用紙 ②EDP用紙(白) ③品番カード(白) ④各種印刷物	①大量の場合はクリーンセンタへ持ち込む ②車両等がなく持ち込み不可能の場合はクリーンセンタへ引き取りの依頼をする ③白故紙専用排出BOXへ出す
故紙(色付き紙)	①印刷の有無にかかわらず紙そのものが色付き ②紙の大小、切断したか否かは関係ない ③白の故紙であっても塗りつぶし面積が20%を超える場合は色付きの故紙へ	①新聞紙 ②雑誌 ③電話帳、時刻表 ④EDP用紙(色) ⑤品番カード(色) ⑥各種印刷物(色)	①大量の場合はクリーンセンタへ持ち込む ②車両等がなく持ち込み不可能の場合は引き取りの依頼をする ③機密書類は手で切断する(シュレッダは不可) ④色故紙専用排出BOXへ出す
ダンボール	①厚紙類全般	①宅配便の空箱 ②納品箱	①箱を壊し、ただたんで出す ②専用排出BOXへ出す
機密書類	①大量でシュレッダー又は切断不可能な機密書類(OHPを除く)	①図書類 ②開発関係技術資料 ③予算関係資料	①機密専用BOXへ出す ②箱に機密と表示してクリーンセンタへ持ち込む
蛍光灯、水銀灯	①使用不可能なもの		①クリーンセンタへ持ち込む
ビニール・プラスチック類	①ホリフィルム(PP、PE系)、ナイロン、アクリルホリフィルム、発泡スチロール等 ②金属類・生ごみとの混合は不可 ③液体が入った状態は不可	⑥プラスチックコップ(紙(カタログ類)) ⑦ビニール窓のある封筒のビニール部 ⑧CD-ROM、写真 ⑨空のビニール製の菓子袋等(トライム品) ⑩樹脂製の食器類	①紙類等との混合物については分離してビニール・プラスチック類のみを出す ②OHPシートのうち特に機密性の高い書類はハガキ等で切断する ③ビニール専用BOXへ出す ④容器類は水洗いしてから出す
アルミ蒸着されたビニール・プラスチック類	①防湿用にアルミ蒸着されたホリフィルム	①空のビニール製の菓子袋等(トライム品)	①専用BOXに入れる(新設) ②各職場でダンボールの箱などで専用のBOXを設置し「アルミ蒸着された……」と明記する
空き缶	①飲食用以外の空き缶類全般	①スプレー缶 ②斗缶、ペール缶 ③ペットボトル等の金属製キャップ	①スプレー缶は必ず穴を開けてから出す ②専用BOXへ出すかクリーンセンタへ持ち込む ③油・薬品等が入っている場合は廃油・廃薬品として排出カードを添付してクリーンセンタへ持ち込む
乾電池、バッテリー	①使用不可能なもの	①各種乾電池類 ②アフォーリアト用バッテリー	①専用BOXへ入れる(新設) ②各職場でダンボールの箱などで専用のBOXを設置し「乾電池類」と明記する ③バッテリー等の重量物はクリーンセンタに引き取り依頼をする
空き瓶	①飲料水以外の空き瓶類全般	①薬品類の空瓶	①クリーンセンタへ持ち込む ②油・薬品等が入っている場合は廃油・廃薬品として排出カードを添付してクリーンセンタへ持ち込む

生活系・事務所系排出物分別基準

分別区分	分別のガイライン	分別品の具体例	排出方法
医療廃棄物	①定期健康診断時等に排出される物 ②健康相談室から排出される物 ③の献血時に排出される物	①医薬品の容器類 ②注射針 ③包帯、ガーゼ、等	①健康保険組合が回収 ②健康相談室から健康保険組合へ ③が回収
たばこ灰・吸い殻		①たばこの吸殻 ②たばこの灰	①確実に火を消してから専用BOXへ入れる
燃やす物(可燃ごみ)	①再生できないもので焼却出来るもの ②ダスキン等のリサイクル品は含まない	①再生できない紙類 ちり紙、FAX等の感熱紙、ろう紙 カーボン紙、ハート付き品、番カト ②製造ライン以外から出る繊維類 タオル、靴下、軍手、ウエイス等 ③ティッシュ、茶殻、果物の皮、種等 ④ビニール製の菓子袋等(ワエト品) (中身が液状)	①排出部門を記入し、ビニール袋に入れて出す ②油污れがひどいワエイスはビニール袋に入れて出す ③草木類はビニール袋に入れて排出する ④ワエイス等の繊維類は製造ラインのワエイス専用BOXに入れても可
空弁当容器	①コンビニ等で購入して社内に持ち込んだ物 ②社内販売の弁当業者より購入した物	①空弁当容器	①空弁当専用BOXへ入れる
飲料水等の空容器	①自販機より購入した飲食用の空容器 ②RBJS/ソフより購入した飲食用の空容器 ③持込の飲食用の空容器	①紙コップ、紙ハック ②飲料用空缶 ③飲料用空瓶	①自販機脇に設置してあるそれぞれ専用のBOXに入れる ②中身は空にして出す
文房具	①文房具類全般 使用済み品、破損品	①筆記用具 ボールペン、マジック、インキ、マーカー、鉛筆等 ②ホチキス、カッター、消しゴム等 ③ファイル、ハインダー等	①専用BOXに入れる(新設) ②各職場でダンボールの箱などで専用のBOXを設置し”文房具類”と明記する
粗大ごみ 他	①事務机、ロッカー ②家電品 ③OA機器 ④その他	④電卓、インク、中身が空のインク、カートリッジ ⑤700ピク、イス、ビキ、ビキ、ビキ ③パソコン等のOA機器 ④その他	①クリーンセンターへ持ち込む ②車両等がなく持ち込み不可能の場合はクリーンセンターへ引き取りの依頼をする
埋立て(不燃ごみ)	①再利用できず且つ燃やすことが出来ない物 ②燃やすとダイオキシン等の有害物質が発生する物	①ガラスくず ②塩じのホース、パイプ類、等 ③ヘルメット ④傘	①不燃物専用BOXへ出す ②飛散するおそれのあるものはビニール袋に入れて出す ③鋭いエッジのあるものは紙や布等で包んで排出する
安全靴	①社内の売場で「安全靴有償貸与券」を使用 して購入した「ミドリ安全」製の安全靴のみ	①安全靴	①売店で購入時に現在履いている安全靴を 備え付けの専用BOXに投入する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t
①現状 (これまでに実施した取組)										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t
②計画 (今後実施する予定の取組)										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
①現状 (これまでに実施した取組)										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画 (今後実施する予定の取組)										

自ら行う産業廃棄物の埋立処理又は海洋投入処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら埋立処理又は海洋投入処理を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
①現状 (これまでに実施した取組)										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
自ら埋立処理又は海洋投入処理を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画 (今後実施する予定の取組)										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
全処理委託量	25.255.t	163.399.t	0.000.t	98.235.t	392.030.t	0.000.t	0.283.t	0.060.t	0.000.t	0.000.t
優良認定処理業者への 処理委託量	25.255.t	163.399.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t	0.000.t
再生利用業者への 処理委託量	25.255.t	163.399.t	0.000.t	98.235.t	392.030.t	0.000.t	0.283.t	0.060.t	0.000.t	0.000.t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t

①現状

(これまでに実施した取組)

- ① 不燃ごみ(埋立)のガラス屑・砥石屑を中間処理委託して、路盤材に再利用(不燃ごみ削減)
- ② 不燃ごみ(埋立)のエンビ・ゴム類をサーマルリサイクルの中間処理委託に、変更

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラ	木くず	金属屑	ガラス・陶磁器	蛍光灯	乾電池	水銀灯
全処理委託量	24.750t	160.131t	0.000t	96.270t	384.189t	0.000t	0.277t	0.059t	0.000t	0.000t
優良認定処理業者への 処理委託量	24.750t	160.131t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
再生利用業者への 処理委託量	24.750t	160.131t	0.000t	96.270t	384.189t	0.000t	0.277t	0.059t	0.000t	0.000t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t

②計画

(今後実施する予定の取組)

- ① 社内全体で2%削減をめざす